

議事概要	
会議の名称	平成29年度第1回長久手市子ども・子育て会議
開催日時	平成29年9月21日(木)午後2時から午後4時まで
開催場所	長久手市役所 会議室棟2階D,E,F会議室
出席者氏名 (委員50音順敬称略)	<p>【委員】 会 長 山本理絵 委 員 安藤功臣 委 員 鵜飼洋一 委 員 川本達也 委 員 神部めぐみ 委 員 喜多一憲 委 員 鈴木多恵子 委 員 鶴見初美 委 員 原口浩美 委 員 稗田ひろ子 委 員 日置桂敬 委 員 本松あゆみ 委 員 森川佳子</p> <p>【事務局】 福祉部次長兼福祉施策課長 成瀬拓 福祉部次長兼長寿課長 中野智夫 子育て支援課長 門前健 指導保育士 加藤七保美 児童館長 松井由子 課長補佐(保育・子ども未来・施設担当) 兼こども未来係長 西本拓 課長補佐(子ども家庭担当)兼子ども家庭係長 岡藤彰彦 保育係長 川本理絵 健康推進課長 南谷学 課長補佐(母子保健担当)兼母子保健係長 鈴木晶子 教育総務課課長補佐兼施設係長 水野真樹</p>
欠席者	遠藤一夫委員、田端香代子委員
傍聴者人数	5人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	1 あいさつ 2 委嘱状の交付について 3 議題 (1) 子ども・子育て支援事業計画の平成28年度進捗状況について (2) 平成29年度事業(抜粋)の実施状況について (3) 子ども・子育て支援事業計画の数値見直しについて 4 その他
問合せ先	長久手市役所福祉部子育て支援課 電話0561-63-1111 内線189

議事録	
事務局	<p>1 あいさつ (次長あいさつ)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議は、過半数の委員が出席していることから成立する。 ・本会議は公開となっているため、傍聴者の出入りがあることをご承知おきいただきたい。
事務局	<p>2 委嘱状の交付について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様は任期1年目であるため、本日委嘱状を交付するが、時間の都合上、机上交付とさせていただく。 ・続いて、条例第5条の規定により委員の互選により会長を選出する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・山本委員を推薦する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成（拍手）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・では、山本委員が会長に選任されたので、早速、議題に入る。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事の進行を会長にお願いします。
	<p>3 議題 (1) 子ども・子育て支援事業計画の平成28年度進捗状況について</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議題(1)の「子ども・子育て支援事業計画の平成28年度進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>(資料1、2-1、2-2に基づき説明)</p>
	<p>質疑</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目、資料2-1のNO.14「認可外保育施設利用者への支援」について、どんな方々、こういったところを対象とされているのか教えてほしい。保護者が市へ届け出をするのか、また助成金の内容を教えてほしい。 ・2点目、こういった子育て情報などはどこで入手するのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3点目、資料2-1のNO.57「産前・産後サポート事業」について、保護者向けに保健センターや支援センターの方でもアナウンスしてもらうことは出来ないか。 ・ 4点目、資料2-1の1ページの現在の待機児童の状況について教えてほしい。 ・ 1点目について、まずニーズは女性を対象にしている。認可外保育施設に関しては、事務所内に設置されている従業員向けの保育施設も含まれるので、従業員の方がお子さんを会社の中にある保育施設に預ける場合も対象としている。 申請書については保護者が申請していただく形になる。 助成金は世帯によっても異なるが、所得の高い世帯で千円、低い方で5万円という方もいる。 ・ 2点目について、広報や市のホームページなどから情報を得てもらう。 このほか、毎年度10月から保育園の申し込みがあるが、その際や、様々な相談の際に認可外保育施設についても個別にご案内している。 ・ 3点目について、今後、子育て支援センターでも対応をしていく。 ・ 4点目について、平成29年4月1日現在の待機児童の数は保育所の改築や地域型保育事業の推進により、受入れの数は増やしたが、残念ながら解消には至っていない。4月1日の待機児童は20人で、内訳は0歳児が5人、1歳児が15人、2歳児は4月1日の段階ではない。
事務局	<p>(2) 平成29年度事業（抜粋）の実施状況について</p> <p>(資料3に基づき説明)</p>
委員	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1点目、資料4の図表13番の放課後子ども教室について、放課後子ども教室と児童館を学校の中でどのように一体化にするのか。 またなぜ一体化するのも合わせて知りたい。 ・ 2点目、8ページの病児・病後児保育事業について、先ほどニーズと実際の利用に乖離があるということで、今回の計画値はどのように出したのか教えてほしい。

事務局	<p>・3点目、同じ病後児保育について、病後児保育を利用したくても使い方が分からないとか、利用しにくいという声をお母さん方から多く耳にするので、アンケートをする時に「どこが使いにくいのか」という部分も調査すると、この乖離もなくなるのではないかと。</p> <p>また朝、急に子どもの具合が悪くなっても、どこにも預けられず、仕事に穴を空けるにはいかないという話もよく聞くので、そういった方も助けることはできないのかと思う。</p> <p>・1点目について、児童クラブと放課後子ども教室の一体化で、事業そのものを一体化するのではなく、児童クラブは児童クラブ、放課後子ども教室は放課後子ども教室で、それぞれの事業を同じ敷地内で実施する。</p> <p>一体化をする理由としては、厚生労働省及び文部科学省が、所轄は異なるが、児童クラブと放課後子ども教室を、学校の中の同じ敷地内で実施した方が安全な場所を確保できるということと、放課後子ども教室の体験を児童クラブのお子さんも参加した方が色々な体験ができるということで、「放課後子ども統合プラン」という計画を策定したので、長久手市でも学校の中での一体化を推進していく。</p> <p>・2点目について、計画値については、計画策定時に保護者向けにアンケートをさせていただき、量の見込みとして集計したものになる。</p> <p>お子さんが病気になった時に利用したいかどうかを集計して、利用したいという方が多くいた。そこから利用者数を予測したが、実際に1年間に利用した方は、平成28年度は272人だった。</p> <p>おそらく実際には、保護者が仕事を休んだり、祖父母に預けることが出来たのかと思う。</p> <p>現在、病児・病後児保育について、病児保育については、病院1カ所、名東区にある「よつば」で実施している。また、病後児保育については、市内のイン保育園の中にある「おひさまルーム」で実施している。</p> <p>計画上は市内での設置を目標としており、それに向けて計画期間内に実施出来るようにしていきたい。</p>
事務局	<p>・3点目について、アンケートについては、現計画では平成31年度までの集計の結果に基づく内容になっており、次期計画は平成32年度からとなるため、次期計画は平成31年度に検討していく。このため、その前年の平成30年度にアンケートを実施したいと考えている。</p> <p>次に利用方法について、市によって差があるが、長久手市では、前日までには空き状況を確認していただき、予約してもらう。</p> <p>他市では、事前登録が必要な市もあるが、長久手市では行っていない。このため近隣市町に比べれば、簡便な手続となっているが、急な保育の必要性とか病後児医療保育を実施している医療機関も保育士、看護師の数も限られ</p>

委員	<p>ているので、お預かりできるお子さんの数も限られてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小学校は、平成28年度から新しく使い始めた校舎に放課後子ども教室と児童クラブがあり、部屋は別に設置してあって、放課後子ども教室に自分の子どもを通わせてもらっていたが、あまり子どもから意見を聞いていないので分からないところではあるが、先ほどの話を聞いて、一体化には賛成する。
事務局	<p>(資料4に基づき説明)</p>
委員	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ページの障がい児保育について、症状に軽度から重度までであると思うが、どんなお子さんを受け入れているのか。またお断りすることはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの程度としては、診断を受けているお子さんもいれば、受けていないお子さんもいる。発達障がいのお子さんが一番多くて、肢体不自由の方もいる状態である。またチェックリストはなく、私たちは面接を行ってその後、園長等を含めた審査会で相談しながら、集団での保育が可能なお子さんは受け入れている状態である。 <p>障がいの程度によっては、お断りすることもある。</p>
事務局	<p>(3) 子ども・子育て支援事業計画の数値見直しについて</p> <p>(資料5に基づき説明)</p>
委員	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孫が生まれて、出産祝い事業の品である積み木をもらったが、写真ではイスの中に積み木が入っていたので、どうしてもイスが欲しかったが、市役所やネット販売で売っていなかったのが、南木曾町まで買いに行ったが、市役所での販売の予定はないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・販売の予定はない。この取組自体が地域間交流をしている南木曾町に興味を持ってもらうことも事業の一環なので、興味を持った方はぜひ南木曾町を訪れてほしい。
会長	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、事務局から何かあるか。

会長 事務局	<p>(特になし)</p> <ul style="list-style-type: none">・ それでは、進行を事務局にお返しする。・ 本日の会議はこれで終了する。
-----------	---

